

386. メールマガジンについて

Q：市の広報について、私の年齢（30歳）以下は広報を読まない。メール配信の検討をして頂けないか。

A：市政については市報およびホームページ、CATV等で紹介している。是非とも活用をお願いしたいし、方法については改めて周知を行いたい。メールについては双方の確認がなければ出来ないので今しばらく検討したいと思う。若い人が市政に関心をもてるように検討したい。（政策企画部）

387. 情報公開の徹底について

Q：情報公開についてだが、だんだん進められていると思うが一方通行の面がある。情報公開は双方向であるべきであると思う。市長の定例会見は時間を決めて流して頂きたい。市報うんなんの役割については、住民の活動を紹介する等もっと行えば良いのではないか。また、マスコミ、テレビ等へ市長が出てこない。一番出てくるのは出雲市長である。市長は定例会見や議会で考え方を話されるが、実際に行っている姿を見ない。話だけでは駄目。

A：情報公開に関するご意見ご提言についてですが、担当課で前向きに検討したい。（政策企画部）

【情報化】

388. 携帯電話の不感地域の解消について

Q：携帯電話のつながりにくい地域の解消はどういう考えで行っていくのか。（大東町阿用）

A：国の事業で鉄塔を建てる事業と、ケーブル分の費用に対する行政措置と2種類の大きな事業がある。これを活用しながら取り組む。雲南市の中にはかなりの不通話地域がある。これらの地域の整備については事業者要望しているが、事業者と協議をしながら示させていただく。（政策企画部）

雲南市では半分以上が通話しにくい地域という状況である。大原郡内はまだいいが飯石は厳しい。AU等民間事業者をお願いに出かける必要がある。（市長）

389. 携帯電話の不感地域の解消について

Q：携帯電話などのエリアが狭く不便。業者に働きかけ、エリアを拡充していただきたい。（加茂町昭和）

A：雲南市の中でもとりわけ届きにくいところをピックアップして業者にお願いしている。（政策企画部）

市全体では半分ぐらいが通じない、又は通じ難い状況にあり市としてもこうした地域を解消するよう努力したい。また県議会の方からも働きかけていただいている。昨日の全国市長会でも全国的な問題として取り上げられた。（市長）

390. 携帯電話の不感地域の解消について

Q：携帯電話の不通話地域があるが、調査をした具体的な状況を教えて頂きたい。

A：携帯電話については国に要望を8カ所出している。木次については、宇谷と芦原地区で要望を出している。具体的には状況はまだ分からないが、雲南市として強力に要望していく。（政策企画部）

391. 携帯電話の不感地域の解消について

Q：この地域（吉田町民谷）での携帯電話の使用は平成10年来の悲願とも言える。市からは「これか

ら本気でやってみる」との答弁を受けていたがその後はどうなったか？

A：現在市内で民谷を含んで8ヶ所を国へ申請中である。補助率は国：県：市＝50：20：30である。しかし、補助はあっても事業者にとっての採算性が問題となっている。現在、詰めて交渉中である。今しばらくお待ちいただきたい。

D：説明が分からないではないが、行政に助けてもらいたいと言う気持ちもある。よろしく願いしたい。

392. CATVの番組編成について

Q：雲南夢ネット告知分野・イベント報告が多く、農事放送、農業指導が少ない。農協との番組編成調整はどのようにされているか。

A：雲南夢ネット3局あり、番組制作過程の相違があり、統一したものになっていない。各々番組審議会を設けている。意見については番組編成会議で検討したい。(影山助役)

393. CATVの番組について

Q：CATVの番組内容がつまらなくなった。

A：心掛けるようにする。がんばるように努力する。

394. CATVの情報について

Q：CATVの情報について、住地と欲しい情報地域とのあいだに格差がある。身近な情報を得たいのに、局の関係で遠くの情報しか得られない。(吉田町川手地区)

A：合併した効果として期待に応えなかったのにならなくていいと認識した。できるだけ満足していただけるものをつくっていきたいと考える。時間を下さい。

395. CATVの気象情報について

Q：有線テレビの気象情報(掛合局)が的確ではない。シーズンに関連画面に切り替えることになっているが、切り替わっていない。修理はどうなっているのか。

A：有線テレビ情報は、平成5年に出来て12年経過している。積雪に関する状況を確認するため、現場へ行きました。積雪の表示がもとからされていない状況でした。メーカーで修理費を見積もったところ500万円～600万円かかるとのことでした。施設そのものを11月1日に一部事務組合に資産を譲渡して維持管理をすることになっている。一部事務組合と観測所へ行った見たところ、文字放送で修理している状況を出している。発注してすぐ出来ない機器であり、機器そのものの取替が必要。予算要求の時間もなく現在に至っていることをお詫びいたします、シーズンにあった放送をというのですが、早めに切り替えるよう事務組合に言うておきます。(総合センター)

有線テレビの積雪情報が放送されている状況は初めて知りました。すぐ調べて対応したいと思います。(市長)

Q：今日も24cmになっている。見通しはどうか。

A：一部事務組合の予算対応が必要になってきますので、いつかははっきりしません。画面はすぐに切り替えられます。(総合センター)

有線テレビの関係は、状況が把握できていません。早く対応します。(市長)

《その後の対応》

テレビの農業気象情報に積雪の情報が放送されていた件については、現在積雪情報は除いた気象情報を放送しています。故障している積雪情報のシステムの修理については、掛合総合センターと事務組合で検討中です。

396. CATVの一本化について

Q：雲南夢ネット、早期に一本化して雲南市で起きたことを即時に放映してほしい。現在運営委員会がどうなっているか。一本化するまでは地域要望を入れ、いままでどおり運営されたい。

A：再検討し、効率的に運営したい（影山助役）

397. CATVの料金とサービスについて

Q：CATVについて質問したい。料金の中身を見た場合、木次町はCATVで2100円、加茂町は告知放送が入って2100円で、大東町は告知放送と有線放送で2100円である。木次町はJAに有線放送分として1000円を払っている。簡単に言えば木次町は余分に払っている。電柱も電線、NTT、有線とあり、日登地区の場合は下水もある。非常に景観が悪いという意見がある。常会の際に有線放送の設備が15年経過し古くなっているから総務省や行政と協議を進めながら施設更新を実施したいとの話があった。現在CATVで同じ様なサービスが出来ると考えられ有線の必要性がなくなっている。これを行えば、雲南市内同一の料金でほぼ同じサービスが受けられる。JAからは行政と相談していると文書にあるがどうか。

A：以前のKKMがスタートするとき、加茂町、三刀屋町、木次町の情報提供の方法が違っていた。加茂はNTTの告知放送、木次は有線放送、三刀屋は防災無線であった。加茂町も以前は有線放送であった。当時は、加茂町が見直しの時期に来ていたため、変更をおこなった。木次の有線放送はまだ使える状態でありJAの電通関係の事業者資格もありこれを使用しないのはもったいないということもあった。使用料については、加茂町は告知放送について以前施設投資を行ってきた。この際かなりの負担をしている。これからについては情報網の整備も必要であり、三刀屋町、吉田町、掛合町も古くなってきている。地震等があった場合を想定し、新しい情報通信環境の整備が必要ではないかと思う。今、担当部署にて一番良い方法を検討している。従って検討段階であり、答えられるような状況ではない。（市長）

398. 情報の伝達について

Q：情報を受取るのは、どこで受取ればよいのか。情報弱者が生れないようにどのように対策をとられるか。

A：市の情報については、さまざまな媒体があるが、市広報、市長の定例記者会見、雲南市のホームページをご覧頂きたい。ITの推進について、大東のITの杜も継続し、パソコン教室等も開催する予定であるので積極的に参加いただきたい。（政策企画部）